



平成 27 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上 場 取 引 所 東 名 福 札
問 合 せ 責 任 者 グループ戦略推進室
広報部長 齊藤 啓介
(TEL03-6716-3111)

当社油圧機械、加速器及び I T S に関する事業の会社分割による
当社連結子会社への承継に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社が営む油圧機械、加速器及び I T S (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム) の各事業を、当社の 100%出資子会社である三菱重工メカトロシステムズ株式会社 (以下、「MH I -MS」といいます。) に承継させる会社分割を行う方針を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 会社分割の目的

MH I -MS は、機械・環境装置の設計・製作・据付・アフターサービスを手掛ける会社としてスタートし、当社グループ会社の再編を通じて立体駐車場や鉄構装置へと事業領域を広げてきましたが、この度、当社が営む油圧機械、加速器及び I T S の各事業を、吸収分割により MH I -MS に承継させることとし、同社が手掛ける製品と融合させて市場深耕をはかることで、事業の拡大と安定化につなげていくことを狙いとしたものです。

なお、詳細につきましては、別添のニュースリリースをご参照ください。

2. 会社分割の要旨

(1) 分割する事業内容

油圧機械、加速器及び I T S の各事業並びに各事業に付帯する事業

(2) 承継会社の概要

名 称	三菱重工メカトロシステムズ株式会社
所 在 地	神戸市兵庫区和田宮通五丁目 4 番 22 号
代表者の役職・氏名	取締役社長 渡邊 望
事 業 内 容	機械装置(試験装置、文化・スポーツ施設)、環境装置

	立体駐車場、鉄構プラント、その他機械設備の設計、製造 販売、アフターサービス
資 本 金	1,000 百万円
従 業 員 数	1,105 名 (平成 27 年 4 月 1 日現在)
売 上 高	46,129 百万円 (平成 27 年 3 月期)
大株主及び持株比率	三菱重工業株式会社 100%

(3)会社分割の日程 (予定)

ア. 油圧機械及び加速器に関する事業

取 締 役 会 決 議	平成 27 年 7 月 31 日
契 約 締 結 日	平成 27 年 7 月 31 日
実行予定日 (効力発生日)	平成 27 年 10 月 1 日

イ. I T S に関する事業

取 締 役 会 決 議	平成 27 年 7 月 31 日
契 約 締 結 日	平成 27 年 7 月 31 日
実行予定日 (効力発生日)	平成 27 年 11 月 1 日

(4)その他

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

3. 今後の見通し

本件分割による当社業績への影響は、連結、個別ともに軽微です。

以 上

油圧機械・加速器・ITS 事業を MHI-MS へ移管
機械・鉄構製品との融合で市場深耕

三菱重工業は、10月1日付で油圧機械および加速器事業を、11月1日付で ITS（高度道路情報システム）事業を、当社 100%出資子会社の三菱重工メカトロシステムズ株式会社（MHI-MS、社長：渡邊 望、本社：神戸市兵庫区）に移管します。MHI-MS が展開する機械・鉄構製品と融合させて市場深耕をはかることで、事業の拡大と安定化につなげていくのが狙いです。

当社は、これらの事業を MHI-MS を承継会社とする吸収分割により移管します。MHI-MS が承継するのは、下関造船所 大和町工場で手掛けている油圧機械（油圧機器、油圧システムを用いたデッキクレーン、試験装置、およびエアヒーター）と、三原製作所を製造拠点とする加速器※、および神戸造船所を事業拠点とする ITS 製品（高速道路料金収受システム、ETC システム、および交通管制システムなど）です。

油圧機械および加速器については、製造機能を現在の製造拠点に残し、グループ横断的なリソース活用により、効率的にシナジーを追求していきます。

MHI-MS は、油圧技術を試験・検査装置や文化スポーツ施設などへ積極的に活用することで、新たな製品・システムを市場に提案していきます。また、これまで加速器事業は加速管単体の供給が主力でしたが、MHI-MS が保有するメカトロ技術を融合し加速器を応用したシステム製品の供給により市場の期待に応えていきます。

さらに、これまで ITS 事業は国内新設・更新工事および輸出案件を当社で、国内保守業務を MHI-MS で担当してきましたが、これらを MHI-MS に統合することで、顧客の利便性向上と業務の効率化をはかっていきます。また、ITS 事業の海外展開力や情報通信技術によって、立体駐車場や試験装置などの既存製品を一層魅力あるものにするとともに、新製品の創出を加速します。

MHI-MS は、機械・環境装置の設計・製作・据付・アフターサービスを手掛ける会社としてスタートし、当社グループ会社の再編を通じて立体駐車場や鉄構装置へと事業領域を広げてきました。今回、さらなる事業拡大を弾みにして、人員の効率的な活用や市場競争力強化に努めていきます。

当社は MHI-MS と密接に連携し、その事業展開を全面的に支援していきます。

※ 電子や陽電子、陽子などの荷電粒子を加速するもので、原子物理や素粒子物理、放射光科学の分野に広く用いられています。その中核機器が加速管で、常伝導加速管や超伝導加速管が国内外の研究機関などで活躍しています。

担 当 窓 口：機械・設備システムドメイン、ICT ソリューション本部

以 上